|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設長 | サビ管 | 世話人 | 世話人 | 世話人 | 世話人 | 世話人 |
| 　　 |  |  |  |  |  |  |

議事録（スタッフ会議）・第11回

2023年3月13日（月）

9：00～10：00

参加者：田中施設長、芳賀サビ管、丸山、雫田、遠藤、美齊津・利根川

（1）ケースカンファレンス

①儀間周一さん

・土日の休日も昼食をとる

・飲酒がやめられない→本人に危険性を適宜伝えていく事とする

　　続けることによるリスクの説明を中心に声掛けしていく（その日の様子を見ながら）

・月曜日のオードリーでの活動→本人の生活リズム的に無理だという事がわかった

　　　月曜は午前オードリー午後買い物（予約が取れなかったら1日活動をする）

・いわはなの予約等の予定：本人に必ずメモを書いてもらい、職員とやり取りをする。

②西原武さん

・3月20日週か27日週で体験利用（ほぼ入所）

生活の始まりで、3月体験4月1日から本入所

・部屋が片付けられない状況を聞いているので、片付けられない状況になる前に声掛けさせていただく。定期的に確認させていただく旨は了承いただいている。

・湯たんぽに関して

　電子レンジを使用するのであれば→関相談員にお伝えし、購入等考えてもらう

③田中龍矢さん

・今まで→ベッドから離れて日中活動をする時間が少なかったので体力が育っていない。

　日中活動継続できるよう早く休むように伝えるなど、体力温存、回復のための声掛けをしていく。

・通院先が決まらないと退院ができないので、現在西熊谷病院と、通院先の交渉中。

3/15　田中さん、芳賀さんがケア会議参加

④大塚稔明さん

・本人利用希望なし

2，今月モニタリング予定

①野中康弘さん

・寝具の衛生面の管理が難しそうである。

声掛けすればできるので、晴れた土日に、寝具の洗濯の声掛けをし、干し方についても

ひとつひとつ習慣になるまでに伝えていく（竿を拭いてから干すなど）

・精神面―不安の訴えがあった際は、不安を具体的にとりのぞけるよう一緒に考えてながら取り除く。

②髙橋和貴さん

・バイトのお金がなくなり、金銭面困窮している状況。貸付を受け、生活保護が出るまで生活を繋ぐ。

・生活保護は出るまで1か月ほどかかる予定。4月初週に降りるのではという見立て。

・生活能力の獲得が不十分

　→寝具の不衛生。本人や部屋からもにおいも感じる。寝具を清潔にする事は、自身の健康につながる事を伝え、体臭や部屋の臭いについては本人にきちんと話しをする。

・精神面―金銭面の問題で、不安がピークとなっている。

・気になるところ

　ストレスの影響があるのか、体重が増えている。

　退職後、ハローワークに登録し、自分が気に入った求人が見つかったが、すぐに応募をしていなかったので、求人は無くなってしまった。希望と行動にミスマッチが生じている。

2、利用者への説明事項の検討

①しんごうのマスクの取り扱い

3/13より装着は個人の判断となった

・しないといけない場面

　食事を作成する場面、食事当番は準備の段階での装着は継続。日中活動先の装着のルールは守るようお伝えする。

②バイタルチェックをキッチンにて行いたい

目的：健康状態や部屋の衛生が保たれているかの確認のために、行っていた。儀間さんが最初の入居者だったので、部屋に赴いていた。

今後利用者が増える事によって、朝食作成が遅れるなど業務に負担が生じる可能性も出てくる事が予測される。自分できる人には自分でやってもらい（儀間さんは職員が装着お手伝いする）起床6：00～6：30の間に計測の声掛けを部屋の名前が書いてある用紙を一日ずつ作って置いておくなど、職員から案がでた。

　しかし、キッチンでのバイタルチェックとなると、お部屋の様子の確認が自然とできなくなる。

・茶話会にて、マスクのしんごうでの装着、およびキッチンでのバイタルチェックの件について、利用者へ話題にあげて意見を聞き、話し合いをする事となった。

3，お知らせ

・野中さんから絵を購入しましたら、施設長に報告をしてください。

・利用者に個人的な提供（プレゼントなど）をしたい時は、相談してください。

3/14（火）防災訓練15：30～　高麗川防災　設備点検と防災訓練

3/15（水）茶話会16：15～